

警察学校

Police academy

警察職員として採用されると警察学校に入校し、職務の基礎を学びます。警察学校では、寮生活で同期の仲間たちと寝食を共にして規律ある生活を送ります。第一線での勤務経験のある教官の指導を受けながら、警察組織の一員として必要な知識や技能、体力、自覚や心構えを身に付けていきます。



採用時教養

警察官A (大学卒)

初任科
6か月

職場実習
3か月

初任補修科
2か月

実戦実習
4か月

合計
15
か月

警察官B (高等学校卒業程度)

初任科
10か月

職場実習
3か月

初任補修科
3か月

実戦実習
5か月

合計
21
か月

初任科

警察学校に入校し、警察官に必要とされる基礎的な知識・体力・考え方を身に付けます。

職場実習

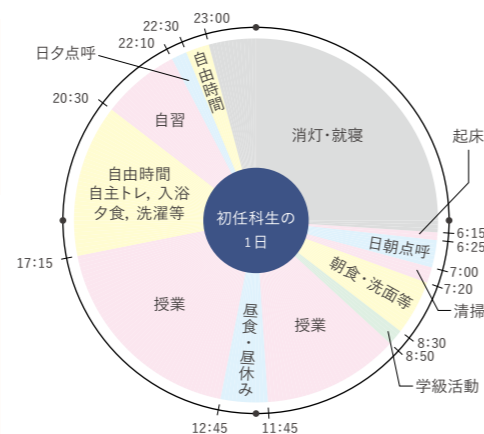
警察学校を卒業後、各警察署に配属され、交番勤務などを通して現場での実務の基本を学びます。

初任補修科

職場実習修了後、再び警察学校に入校し、さらに専門的な知識や技能を修得します。

実戦実習

配属された警察署に戻り、交番勤務を通して実務に即した職務執行力を身に付けます。



法学・警察実務



昼食



教練



術科訓練



運転訓練



警察学校のカリキュラムは、法学等の座学だけでなく、実際の事件・事故現場を想定した実践的な実務教養のほか、職務倫理や郷土史などを学ぶ一般教養や術科訓練(柔道・剣道・逮捕術等)などがあります。柔道や剣道は、教官が基礎からしっかりと指導しますので、未経験者でも全く心配いりません。志ある仲間と共に、ここから警察官としての人生が始まります。